

# 公共施設予約システム構築について

令和 8 年 3 月 1 6 日  
総務常任委員会 報告事項 資料  
政策調整部 情報政策課

## 【事業の概要】

施設利用者の利便性向上を図る目的に加えて、施設利用を促進するため、これまで運用しているスポーツ施設や公園など25施設に加えて、大津公民館や大津市伝統芸能会館など7施設を追加するほか、①マイナンバーカードを活用したID登録や②オンライン決済・③スマートロック機能を導入し、公共施設のDX化を図る。

## 【現状の課題】

- ① 施設利用の手続きの煩雑さ(紙による申請、現金決済 など)
- ② アナログ的な施設予約管理(窓口申請受付、現金取り扱い など)
- ③ 現行システムのサポートが令和7年度末に終了

## 【期待される効果】

住民サービスの利便性向上  職員の業務効率化  DX・BPR

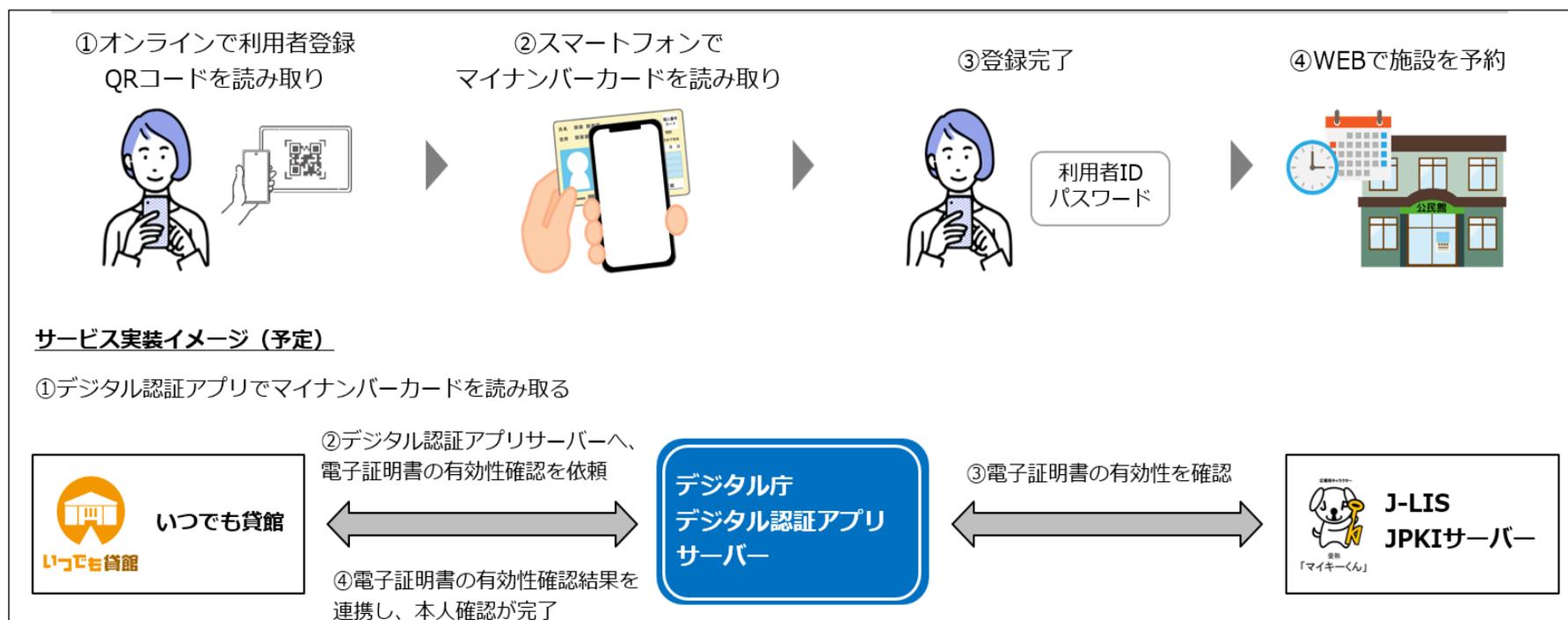
より質の高いサービスの提供と施設予約管理業務の効率化

住民サービスの利便性向上 : いつでもどこからでも予約可能、移動時間や待ち時間の削減  
職員の業務効率化 : 窓口・電話対応業務の縮減と職員の負担軽減

# 公共施設予約システム構築について

## 【システムの概要】

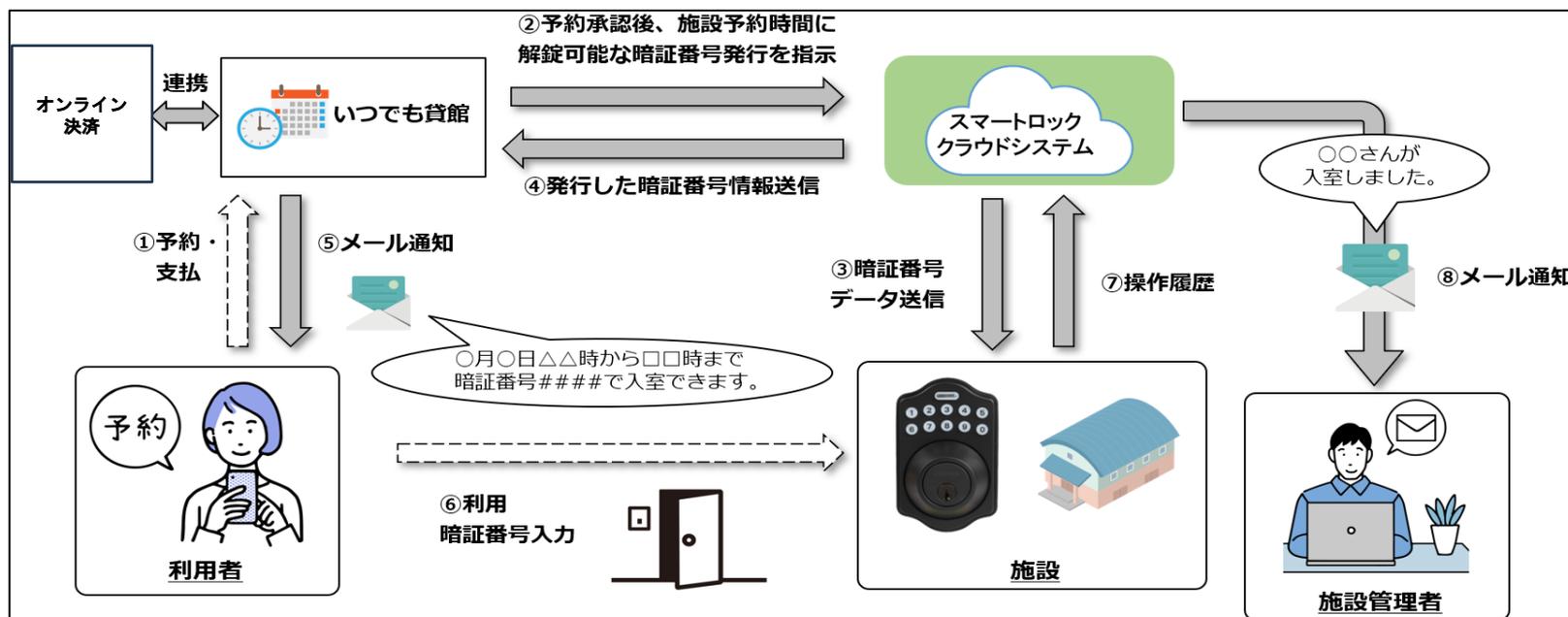
### ①マイナンバーカードを活用したID登録



# 公共施設予約システム構築について

## 【システムの概要】

### ②オンライン決済 ③スマートロック機能



#### <オンライン決済>

- ・クレジットカード決済: VISA、Mastercard、American Express、Diners Club、JCB)
- ・コード決済: PayPay (ペイペイ) ※2026年5月から利用開始予定
- ※現金による窓口払いも可能

#### <スマートロック機能>

生涯学習センター学習室(5室)に導入

# 公共施設予約システム構築について

## 【システムの概要】

### <主な機能>

利用者:空き状況照会、予約・抽選申込、利用者情報変更、帳票の電子化など

管理者:予約・抽選管理、請求・収納管理、備品・設備管理、集計・統計、お知らせなど

### <対象施設>

	現行導入済施設	追加導入施設(令和7年度末)
施設名	市民運動広場(下龍華市民運動広場 他6) 市民体育館(和邇市民体育館 他2) 都市公園(皇子が丘公園 他7) 桐生若人の広場、坂本市民格技場 生涯学習センター、和邇文化センター 北部地域文化センター 勤労福祉センター、勤労者体育センター	大津公民館 大津市民会館 大津市伝統芸能会館 スカイプラザ浜大津 市民文化会館 男女共同参画センター 田上市民体育館
施設数	25	32(+7)

# 公共施設予約システム構築について

## 【指標評価】

### 活動指標:ID登録者数におけるオンライン申請の割合

KPI	ID登録者数におけるオンライン申請の割合	種別	アウトプット	単位	%
KPIの概要、測定方法	本システムにて新規利用登録をした人数（累計）における、マイナンバーカードを利用した申請者数 測定方法：システム内で利用登録した人数を把握 当市におけるマイナンバーカードを利用した電子申請の上昇率をもとにKPIを設定（令和5年度:1%、令和6年度:3%）				
事業成果等の計測に適する理由	新規利用者にとっては時間や場所に縛られず登録における負担を軽減する必要があり、当該割合の比率を上げることが利用者の利便性向上及び施設の稼働率向上のつながるため。				
	2025年度末		2026年度末		2027年度末
	5%		7%		9%

### 成果指標:システム利用者満足度

KPI	システム利用者満足度	種別	アウトカム	単位	ポイント
KPIの概要、測定方法	本システムで施設予約等を行った利用者を対象とした5段階評価アンケートの平均値。 測定方法：各施設にて利用者アンケートを設けて、利用者の満足度を測定する。				
事業成果等の計測に適する理由	本システムの利用者満足度を図ることで、システムにおける機能面の充実度を把握できるため。				
	2025年度末		2026年度末		2027年度末
	3.0		3.5		4.0

旧:デジタル田園都市国家構想推進交付金申請より抜粋

## 【今後の取組み】

- ① 施設利用者拡大に向けた広報周知  
利用者満足度調査を踏まえ、満足度の向上・改善を検討し、適時、情報発信のコンテンツや手法について見直しを行い、継続的な周知を図る。
- ② 対象施設の拡充  
各小中学校(グラウンド、体育館)など
- ③ 機能の充実  
決済方法の追加(コンビニ決済、コード決済、Pay-easy)など

# 公共施設予約システム構築について

## 【構築経費】

### <歳出>

システム構築費用	10,171千円
その他初期費用	770千円
月額利用料	307千円
合計	11,248千円

### <歳入>

5,613千円

新しい地方経済・生活環境創生交付金(1/2補助)  
(旧:デジタル田園都市国家構想推進交付金)